

■主な出版物のご案内

都市農地センターでは、以下の出版物を発行してまちづくりに関する情報提供に努めております。



§ 情報誌 「都市農地とまちづくり」

都市農地を活用したまちづくりに関する情報をタイムリーに集約し提供する刊行物
※1994年の創刊号よりウェブサイトに掲載しています(冊子の頒布は終了しました)。



§ 「一問一答 新しい都市農地制度と税務」

2022年問題を前に、法改正、新法により大きく生まれ変わった生産緑地制度と税制について一問一答で分かりやすく解説

(ぎょうせい刊・平成30年11月発行・3,200円+税)

※ご購入は、書店等または株式会社ぎょうせいよりお願い致します(当センターでの頒布はございません)。詳細は、当センターHP及び、FAX用紙をご確認ください。



§ 「ケース別 農地の権利移動・転用可否判断の手引」

農地法等の判断が○×でわかる！農地法による判断のみならず、農地制度を構成する他の法律による判断や農地の相続・贈与等における民法上の判断など、様々なケースをわかりやすく解説

(新日本法規出版刊・平成29年5月発行・3,600円+税)

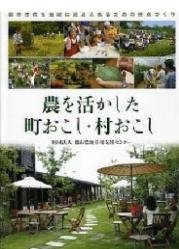
※出版社直売につき書店在庫及び電子書籍のみの取り扱いとなっています。



§ 「超高齢社会と農ある暮らし」

元気老人が楽しんでいる市民農園等、介護施設に併設された菜園のような介護と結び付いた取り組み、介護予防を兼ねたレクリエーションを提供する取り組み等を紹介する先進事例集

(平成23年3月発行・1,000円/税込、送料別途)



§ 「農を活かした町おこし・村おこし」

農を活かした都市住民との交流により地域活性化を図ろうとしている昨今、「農を介した」全国のさまざまな活動状況に着眼し、そこでの背景・意義、創意工夫などを取材し、分かりやすくまとめた事例集

(平成22年5月発行・1,500円/税込、送料別途)



§ 「農を活かした都市づくり」

新しい時代の都市農地のあり方に関する有識者からの提案や都市農地の利活用の実践事例を幅広くとりまとめた事例集

(平成20年10月発行・1,500円/税込、送料別途)



§ 「平成 30・令和元年度定期借地権付住宅の供給実態調査」

平成 30 年及び令和元年に民間事業者及び公的主体により新規供給された定期借地権付住宅供給実態の集計分析を行うと共に、平成 5 年からの供給の経年動向をまとめ、累積値をもとに分析

(1,100 円/送料別途)



§ 「平成 28・平成 29 年度定期借地権付住宅の供給実態調査」

平成 28 年度及び平成 29 年度に民間事業者及び公的主体により新規供給された定期借地権付住宅供給実態の集計分析を行うと共に、平成 5 年からの供給の経年動向をまとめ、累積値をもとに分析

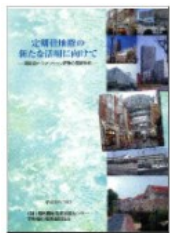
(1,100 円/送料別途) ※平成 27 年度および平成 25・26 年度の報告書も併売中です。



§ 「定期借地権制度のあらまし-土地は所有から利用へ」

定期借地権制度のわかりやすい解説と最新の供給事例等を盛り込んだ、地方自治体向けパンフレット

(平成 20 年 12 月発行・300 円/送料別途)



§ 「定期借地権の新たな活用に向けて-再開発からマンション定借の最新事例-」

最新の定期借地権制度の解説、最新事例を紹介

(平成 20 年 10 月発行・1,500 円/送料別途)



§ 「農住組合の手引き 2006」

農住組合制度の具体的運用、手段を解説した公共団体及び JA 等の担当マニュアル

(平成 18 年 5 月発行・2,100 円/送料別途)

注：農住組合設立認可の申請期限は平成 23 年 5 月 19 日に到来しました。



§ 「農住組合資料集」

農住組合制度の創設以降、これまでに成立された 77 組合(昭和 57 年度～平成 16 年度)によるまちづくり等の動向に関する基礎資料を収集・整理・分析し、資料集としてまとめたもの(オールページカラー)

注：農住組合設立認可の申請期限は平成 23 年 5 月 19 日に到来しました。

※各書の詳細・ご購入については当センターウェブサイト
をご覧ください。

<http://www.tosinouti.or.jp/books/index.html>

